

ク ロ ー バ ー

Clover

VOL.25

2018 年秋号



株式会社 さち コーポレーション
グループホーム さち

ホーム長のご挨拶



つい先日、テレビ番組で落語家の柳家花緑さんが発達障害を自分なりに克服して乗り越えたお話をされていました。花緑さんの祖父は人間国宝の5代目柳家小さんです。

花緑さんは子供の頃から読み書きが全くできなく、文字を覚える事が困難な事と多弁で話しばなしの所がありました。一方で落語は祖父の語りで自然に覚え、9歳から落語を始め2歳で真打にスピード昇進しました。しかし新作落語は字が読めず台本に振り仮名を書き、スマートフォンに録音した自分の声を何度も聴いて覚えたそうです。小学校の成績は体育、音楽、美術は4～5です。しかし他は全て1から2だったそうです。その話を最近ある番組で話したところ、視聴者の方から「その特徴は私の息子と同じ発達障害、学習障害のようです。」とメールで教えられ、初めて自分が発達障害だったと分かったそうです。自分に劣等感があり、努力して自分が変だと分からないようにしていましたが、障害であると言われて「救われた気持ちがある。きちんと診断されて良かった。正直今の自分を伝える事に繋がった。」と花緑さんは打ち明けています。



花緑さんは7、8分の落語も2、3回聞けば覚える特技もあります。「誰でも欠点ばかりに目が行ってしまいがち。得意な部分を生かせばいい。」と訴えています。

発達障害への支援においては「不得意なところを直すよりも出来ることを褒めて、自己肯定感を高めるのが重要。」と専門家はアドバイスしています。日本にはこのような発達障害の中でも一番多いADHD（注意欠陥多動性障がい者）の方が300万人はいると言います。

花緑さんは並々ならぬ努力をされて今があり、これからも落語会を牽引して行く方だと思います。

私も短所と思って今までやらずにいたことの中にもやってみれば楽しかったり、夢中になったりする事があるかもしれない、と改めて感じました。この花緑さんの話を見聞きして、臆病になっていた心に勇気が湧いてきました。

60歳を超えて、このような事を思うこの頃です。

研修レポート

今回は岐阜県恵那市で開催された「岐阜・愛知 5 社合同 リーダーシップ研修」にさちから 3 名の職員が参加しました。

恵那市の自然に囲まれた環境の中、1泊2日の研修で人と語る事の大切さを改めて学びました。

今回、組織を作り上げていく上で仲間との信頼関係を築くことの大切さ「認め合う」コミュニケーションスキルを学んできました。「**相手を認める**」そのアプローチとして、声をかける、傾聴する、反応を返す、意見を求める、変化を伝える、任せるなど日頃の積み重ねにより信頼関係を培うことができるということ。普段意識せずに仲間と関わっていますが、もしかすると私の関わり方に不満を抱いている仲間がいるかも…と考えさせられました。今回講師の方よりいろんな学び、取り組みなどを教えられましたが、私が一番印象に残り即実践したいと思ったことは…相手の話を聞きそのうえで自分の意見を伝える際「**YES AND**」（相手の価値を認め、そして/さらに/ならば/だとすると）相手と自分の意見をつなぐ架け橋となる言葉。ポジティブ思考・共創の雰囲気作り、未来志向となり仲間を認め信頼関係が強くなる関わり方。その反面「**YES BUT**」



は相手の価値は認めるがネガティブ思考で否定的（でも/だけど/しかし）、発展性に欠ける言葉となるので注意した方が良いとのことでした。

今回の研修では机を前にして話を聞く研修ではなく、輪になり参加した方々全員の姿、顔をしっかりと目にしながら皆さんとたくさん語り、ふれあい、グループワークの取り組み、遊びも盛り込まれた1泊2日の研修で、初対面だった方々がより近く感じられた様に思います。日々の仕事の忙しさや差し迫った期限に追われるなど、余裕のない生活で仲間とのコミュニケーション不足となっていたかもしれません。今回の研修の様に相手をしっかり見る、語り合うことを大切にしながらお互いを認め合う関係づくりを意識して仕事に繋がっていきたいと思いました。

あっちこっちそっち

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

ぶどう狩り（8月）

今年も岡崎市のぶどう園へぶどう狩りに行きました。毎年デラウェアでしたが、今回は少し時期がずれたため、ハニーシードレスという見た目が小粒のマスカットのような甘い品種でした。

背丈程の高さに成る沢山のぶどうを狩り笑顔に☆甘くて美味しいぶどうに皆様手が止まりませんでした。



敬老会（9月）

9月22日、一年で最大のイベントである敬老会を催しました。

以前も披露して下さった早川流櫓太鼓の皆様を招いて盛大に行いました。準備段階からもうすでに感激され涙を流していた利用者様。いざ本番になると太鼓の音が体の奥から響き鳥肌が立つ位の感動を覚え、子供たちの打つ姿、頑張っている姿に私たち職員も涙腺が緩くなってきているのか涙ぐんでしまいました。試打もさせて頂き、リズム感の良い利用者様はドン・ドン・ドンと撥で打つ場面もありました。最後はおいでん踊りとよさこいソーランで締め、楽しく迫力のある会でした。そして大変嬉しい事に「さちで演奏する事が楽しい」とのお言葉ももらえ楽しいひと時を過ごしました。



日帰り旅行（10月）

ご高齢の皆さんに負担が少ない1～2時間でお出かけられる旅行先として、今年は安城市にあるデンパークへお出かけに参りました。天候に恵まれ、大きな風車を見たりパーク内を走るメルヘン号バスに乗ったりと楽しめました。普段歩行できる方でもパーク内の移動は足腰など身体的に負担もあるため車いすもご用意して安心いただけるような準備と家族様のご協力もいただき、楽しい日帰り旅行を行う事が出来ました。さてさて来年は何処に行きましようか。



さちのつづやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつづやきを少しずつご紹介いたします。

田舎

「田舎はいいよ、私の生まれた所は山もあって川もあってね」「両親は生きとって畑をやっとる。会いたいし、どうなっとるか心配だわ」とその人は、90歳を超えているのですが、親の身を案じておられます。今では、この方の故郷も豊田市と合併しており徐々に商店など出来、様変わりしてきて



いる様です。この季節紅葉がとても綺麗なのでまだお元気なうちに生まれ故郷をぜひ見せに連れて行ってあげたいです。

好物

秋になり、食事のメニューも秋の食材が増えてきました。台所を覗くと職員が栗ご飯の準備をしています。

近くにみえた女性利用者様に「今日は栗ごはんですよ!」とお伝えすると満面の笑顔に。実はその方、最近は発語や表情が減ってしまわれ、意思疎通が難しくなっていました。



さらに職員が会話の中に「栗ごはん」を連発すると、どんどんと笑顔が大きくなってきました。好きな食べ物はいつまでも記憶に残るものですね!

その後は皆さんと一緒に美味しそうに召し上がられていました。

バレーだけじゃないよ。水泳、陸上だって!

運動の話をしていた時「私は会社のバレー部に所属してセンターやってたの。40代までやったよ。」会社を変わっても、移り先の会社でバレー部に誘われて活躍してこられたそうですが、バレーだけではなく学生時代は水泳も得意でクロール、平泳ぎのどちらとも選手で活躍し、また足も速く徒競走では1番。「運動は好きだった



から何か得意なものがあると良いよね。楽しかったよ。昔が懐かしい♪今じゃ膝が痛いからできないけど…」と笑顔で運動神経抜群だった頃を懐かしく語っていただきました。

<癒しの時間> lesson 23 フルーツグラタン

秋が深まり、肌寒い季節になりましたね。暦の上では立冬を迎え、街では少しずつクリスマスムードが漂ってきました。我が家でも先日、ついにこたつを出し冬の準備が着々と進んでいます。

今回はこれからの季節にピッタリな温かいデザート「フルーツグラタン」のレシピを紹介させていただきます。

<材料 17cm グラタン皿 1 枚分>

- ・卵黄 2 個
- ・牛乳 100 cc
- ・砂糖 25g
- ・薄力粉 大さじ 1 杯
- ・白ワイン 小さじ 1 杯
- ・お好みの果物 容器に入るだけ



<作り方>

- ① ボウルに卵黄、砂糖を入れて泡立て器でよく擦り混ぜたら薄力粉を振るいながら入れ、さらに混ぜる。
- ② 小鍋に牛乳を入れて弱火にかけ、人肌に温めたら①のボウルに加え混ぜる。
- ③ ②を小鍋に濾しながら移し弱火にかける。とろみがつくまで休まず混ぜる。ダマになりやすいので注意。
- ④ 鍋肌を泡立て器でなぞり、軽く線が残るくらいにとろみがついたら白ワインを加えて混ぜ、火から下ろし粗熱を取る。
- ⑤ フルーツをお好みの大きさにカットしたらグラタン皿等の耐熱容器に並べ、④を流し込みグリルやトースターで表面に焼き色が付くまで焼いて完成。

今回は旬のりんごと柿にカマンベールチーズをトッピングしてみました。焼いている間に柔らかくなった果物に、あつあつのカスタードソースが絡んで幸せな気分です☆

風味づけに白ワインを使いましたが、バニラオイルやラムでも美味しいですよ！


簡単にできるのでクリスマスパーティーの大皿料理にもお勧めです。ぜひお試しください☆

<ゆうこ>



8月11日～11月10日の間に、たくさんの方々からさちにご協力いただきました。


さわやか豊田のみなさん 佐橋澄雄さん ショウワサウンズのみなさん 杉山順子さん
早川流櫓太鼓のみなさん 豊田工業高等専門学校インターアクトクラブの学生さん
トヨタ自動車下山工場のみなさん（順不同）



サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん（ボランティア）を募集しています。「ボランティアっていつと何か出来ないといけないのでしょ？」と思う方もみえるかもしれませんが、確かに色んな特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをしていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普通の生活にほんの少しのお手伝い（サポート）をしていただけるだけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいてもOK。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか？

<担当：神谷>



編集雑記

夏も暑かったですが、秋になっても暑い日がまだまだありますね。それでも確実に季節は移っていき、さちの庭の桜の木も落葉まっさかり。週何回かご利用者様が庭掃除を下さっています。少しずつ、季節の変化を感じながらも、職員の中ではもうすでに来年に向けての準備が始まっています。平成最後の秋・冬を皆さんと心残りないよう、楽しく穏やかに過ごして新しい時代を迎えたらと思います。

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2018年11月10日（発行予定月 2月5月8月11月）